

令和 5 年 9 月 1 日

決 算 説 明

9 月 定 例 会 議

常 総 市

認定第1号 令和4年度常総市一般会計歳入歳出決算についてご説明申し上げます。

まず、歳入につきましては、当初予算額2百43億7千3百万円のところ、補正及び前年度からの繰越額を加えました予算現額は、3百3億5千3百64万3千円であります。これは、前年度に比較いたしまして5億5千3百34万9千2百円で1.8%の減となっております。この予算に対する歳入につきましては、3百2億8千88万8百58円の収入済額で99.8%の収入率であり、前年度に比較し、22億7千7百16万70円の増となっております。また、調定額3百6億7千83万6千9円に対しまして98.7%の収入率で、3億7千3百23万1千6百94円の収入未済額を生じましたが、その主なものは、市税、諸収入等であります。

なお、市税につきましては、1千5百72万3千4百57円の不納欠損処分を行った結果、収入未済額は、2億5千2百24万3千6百35円となり、その他の収入未済額とともに、滞納繰越分として翌年度へ繰越いたしました。

次に、歳出につきましては、支出済額2百84億4千6百60万6千3百27円で、執行率は93.7%となり、14億9百79万8千8百69円の不用額を生じました。不用額の主なものは、民生費の6億6百46万2千27円、衛生費の2億1千90万4千3百38円などであります。

以上申し上げました歳入歳出決算の結果、差引残額は18億3千5百27万4千5百31円となりましたが、このうち3億6千8百41万9千3百4円は繰越明許費の財源であり、これを差し引いた14億6千6百85万5千2百27円を、令和5年度へ繰越いたしました。

以上が令和4年度の一般会計決算の概要であります。

詳細につきましては、特別委員会においてご説明申し上げますので、ご審議賜りますようお願い申し上げます。

認定第2号 令和4年度常総市国民健康保険特別会計歳入歳出決算についてご説明申し上げます。

まず、歳入につきましては、予算現額68億1千96万3千円に対し、調定額66億9千87万1千6百28円、収入済額63億9千44万4千2百79円であります。予算現額に対する収入率は93.8%、調定額に対しては95.5%の収入率です。

主なものは、国民健康保険税13億6千5百80万3千4百10円、県支出金44億8千65万2千6百49円、繰入金4億2千5百16万5千98円であります。なお、国民健康保険税につきましては、2千52万3千3百63円の不納欠損処分を行いましたので、収入未済額は2億7千9百50万6千8百55円となり、滞納繰越分として翌年度へ繰越いたしました。

次に、歳出につきましては、62億8千6百2万9千6百64円の支出済額で、このうち、43億8千6百43万1千4百73円が保険給付費、16億6千2百32万1千9百56円が国民健康保険事業費納付金になります。予算に対する執行率は92.3%で、5億2千4百93万3千3百36円の不用額を生じました。その主なものは、保険給付費の2億9千4百2万6千5百27円となります。

以上によりまして、歳入歳出差引残額は、1億4百41万4千6百15円となり、これを令和5年度へ繰越いたしました。

認定第3号 令和4年度常総市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算についてご説明申し上げます。

歳入につきましては、予算現額14億4千8百68万8千円に対し、調定額14億6千4百77万8千4百77円、収入済額14億5千7百22万8千2百77円あります。予算現額に対する収入率は100.6%です。

主なものは、後期高齢者医療保険料5億7千7百13万6千9百円、繰入金8億5千7百32万4千9百29円あります。

歳出につきましては、14億2千9百51万1千3百70円の支出済額で、後期高齢者医療広域連合納付金13億9千8百92万9百29円が主な支出であります。予算に対する執行率は98.7%で、1千9百17万6千6百30円の不用額を生じました。

以上によりまして、歳入歳出差引残額は、2千7百71万6千9百7円となり、これを令和5年度へ繰越いたしました。

認定第4号 令和4年度常総市介護保険特別会計歳入歳出決算についてご説明申し上げます。

歳入につきましては、予算現額55億7千6百43万円に対し、調定額54億9千6百26万3千14円、収入済額54億5千9百47万8千4百14円があります。予算現額に対する収入率は97.9%です。主なものは、保険料12億2千7万8千円、国庫支出金11億4千13万4千3百47円、支払基金交付金13億5千4百39万3千円です。

歳出につきましては、52億7千2百60万5千4百44円の支出済額で、保険給付費49億9百57万9千9百15円が主な支出です。予算に対する執行率は94.6%で、3億3百82万4千5百56円の不用額を生じました。

以上によりまして、歳入歳出差引残額は、1億8千6百87万2千9百70円となり、これを令和5年度へ繰越いたしました。

認定第5号 令和4年度常総市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算についてご説明申し上げます。

歳入につきましては、予算現額1千7百89万9千円に対し、調定額、収入済額ともに1千6百25万4千3百59円で予算現額に対する収入率は90.8%で、サービス収入が主なものです。

歳出につきましては、1千6百20万3百61円の支出済額で、予算に対する執行率は90.5%となり、百69万8千6百39円の不用額を生じました。

以上によりまして、歳入歳出差引残額は、5万3千9百98円となり、これを令和5年度へ繰越いたしました。

以上が令和4年度特別会計決算の概要です。

詳細につきましては、特別委員会においてご説明申し上げますので、ご審議賜りますようお願い申し上げます。

令和 5 年 9 月 1 日

水道事業会計決算説明

9 月 定 例 会 議

常 総 市

認定第6号 令和4年度常総市水道事業会計決算についてご説明申し上げます。

はじめに、決算報告書についてご説明申し上げます。

収益的収入につきましては、予算額の16億6百64万9千円に対し、決算額は16億6百45万4千19円で、19万4千8百81円の減でございます。収益的支出につきましては、予算額の15億7千16万6千円に対し、決算額は15億2千5百34万1千6百26円で、4千4百82万4千3百74円の不用額が生じました。

次に、資本的収入につきましては、予算額の2億5千3百15万8千円に対し、決算額は2億4千9百80万3千円で、3百35万5千円の減でございます。資本的支出につきましては、予算額の6億6百45万1千円に対し、決算額は6億2百7万6千877円で、4百37万4千9百13円の不用額が生じました。収入が支出に不足する額3億5千2百27万3千877円は、過年度損益勘定留保資金3億2千6百81万2千60円並びに当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額2千5百46万9百27円で補填いたしました。

次に、損益計算書についてご説明申し上げます。営業収益は12億9千14万8千5百3円で、営業費用は13億6千2百83万6千5百円でございます。営業外収益は1億8千7百18万2千1円で、営業外費用は5千8百84万2千4百38円で、収益から費用を差引いた当年度純利益は、5千5百65万1千5百66円となり、前年度繰越利益剰余金の1億9千6百46万8千4百28円を加算しますと、当年度未処分利益剰余金は、2億5千2百11万9千9百94円となります。

次に、剰余金計算書についてご説明申し上げます。資本金の前年度末残高及び当年度末残高は42億4千25万5千15円で、前年と同額でございます。

また、剰余金のうち資本剰余金の当年度末残高は9千3百98万6千9百10円で、前年と同額でございます。

なお、利益剰余金のうち、建設改良積立金の当年度末残高は9千5百35万6千68円で、前年度末残高と同額でございます。未処分利益剰余金は、損益計算書のとおり、令和4年度末残高が2億5千2百11万9千9百94円となっております。

次に、剰余金処分計算書についてご説明申し上げます。令和4年度未処分利益剰余金が2億5千2百11万9千9百94円で、そのまま翌年度への繰越となります。

最後に、貸借対照表についてご説明申し上げます。資産の部では、固定資産が

百10億6千61万9百98円，流動資産が13億7千6百62万4千7百32円で，資産の合計は百24億3千7百23万5千7百30円となります。負債の部では，固定負債が32億4千2百65万3百38円，流動負債が5億7千2百49万7千百43円，繰延収益の合計は39億4千37万2百62円で，負債合計は77億5千5百51万7千7百43円でございます。資本の部では，資本金が42億4千25万5千15円，剰余金が4億4千百46万2千9百72円で，負債資本の合計は百24億3千7百23万5千7百30円となり，貸借は一致しております。

以上が令和4年度常総市水道事業会計決算の概要でございます。

詳細につきましては，特別委員会においてご説明申し上げますので，ご審議賜りますようお願い申し上げます。

令和 5 年 9 月 1 日

下水道事業会計決算説明

9 月 定 例 会 議

常 総 市

議案第73号 令和4年度常総市下水道事業会計未処分利益剰余金処分及び決算についてご説明申し上げます。

はじめに、令和4年度常総市下水道事業会計未処分利益剰余金処分についてご説明申し上げます。

未処分利益剰余金とは、当年度末における繰越利益剰余金の額に当年度の純利益の金額を加えた額をいい、地方公営企業における利益の処分については、地方公営企業法の規定により議会の議決を経て行うこととなっております。

令和4年度末の未処分利益剰余金1億2千7百84万7千4百36円につきまして、その全額を減債積立金に積み立てようとするものです。

次に、令和4年度常総市下水道事業会計決算についてご説明申し上げます。

まず、決算報告書についてご説明申し上げます。

収益的収入につきましては、第1款 公共下水道事業収益では、予算額の9億7千2百8万3千円に対し、決算額は10億4千4百37万2千5百70円で、7千2百28万9千5百70円の増、第2款 大生郷特定公共下水道事業収益では、予算額の2億3百38万1千円に対し、決算額は2億3百48万6千5百91円で、10万5千5百91円の増、第3款 農業集落排水事業収益では、予算額の2億8千39万7千円に対し、決算額は2億8千2百93万4千75円で、2百53万3千4百75円の増でございます。

収益的支出につきましては、第1款 公共下水道事業費では、予算額の9億7千2百8万3千円に対し、決算額は9億4千2百52万6千68円で、2千9百55万6千8百32円の不用額、第2款 大生郷特定公共下水道事業費では、予算額の2億3百38万1千円に対し、決算額は1億9千7百96万5千5百26円で、5百41万5千4百74円の不用額、第3款 農業集落排水事業費では、予算額の2億8千39万7千円に対し、決算額は2億6千8百78万1千7百64円で、1千61万5千2百36円の不用額が生じました。

次に、資本的収入につきましては、第1款 公共下水道事業資本的収入では、予算額の15億1千4百20万6千8百円に対し、決算額は13億4千9百24万7千500円で、1億6千4百95万9千7百50円の減、第2款 大生郷特定公共下水道事業資本的収入では、予算額の3千2百36万4千円に対し、決算額は83万9千円で、3千52万5千円の減、第3款 農業集落排水事業資本的収入では、予算額の9千6百91万5千円に対し、決算額は同額の9千6百91万5千円でございます。資本的支出につきましては、第1款 公共下水道事

業資本的支出では、予算額の24億6千32万4千円に対し、決算額は16億7千3百61万7百52円、翌年度繰越が5億7千7百13万3千円で、2億9百58万2百48円の不用額、第2款 大生郷特定公共下水道事業資本的支出では、予算額の5千5百74万円に対し、決算額は2千7百77万9千66円、翌年度繰越が1千8百70万円で、9百26万9百34円の不用額、第3款 農業集落排水事業資本的支出では、予算額の1億4千4百89万1千円に対し、決算額は1億4千3百66万4千7百83円で、百22万6千2百17円の不用額が生じました。資本的収入額が資本的支出額に不足する額3億9千8百5万3千5百51円は、過年度損益勘定留保資金1億6千4百32万4千8百8円及び当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額6千9百31万4千6百11円、及び当年度損益勘定留保資金1億6千4百41万4千8百32円で補填いたしました。

次に、損益計算書についてご説明申し上げます。営業収益は3億4千9百65万4千4百20円で、営業費用は12億4千4百83万9千6百79円でございます。営業外収益は10億7千74万1千9百円、営業外費用は1億2千6百70万6千74円、特別利益は3百35万1千円で、収益から費用を差引いた当年度純利益は、5千2百20万1千5百67円となり、前年度繰越利益剰余金7千5百64万5千8百69円を加えた当年度未処分利益剰余金は1億2千7百84万7千4百36円となります。

次に、剰余金計算書についてご説明申し上げます。資本金の前年度末残高は12億9千4百66万7千78円、当年度変動額の1億4千9百84万8千円を加えまして、当年度末残高は14億4千4百51万5千78円でございます。

また、剰余金のうち資本剰余金の前年度末残高は7億4千29万2千8百48円、当年度変動額の3百92万9千9百12円を加えまして、当年度末残高は7億4千4百22万2千7百60円でございます。

次に、剰余金処分計算書（案）についてご説明申し上げます。冒頭にご説明さしあげたとおり、令和4年度末の未処分利益剰余金1億2千7百84万7千4百36円につきまして、その全額を減債積立金に積み立てるもので、未処分利益剰余金残高はゼロ円となります。

最後に、貸借対照表についてご説明申し上げます。資産の部では、固定資産が2百87億7千4百87万9千5百37円、流動資産が5億2千9百82万7千5百34円で、資産の合計は2百93億4百70万7千71円となります。負債の部では、固定負債が百億3千9百22万3千42円、流動負債が8億2百88万3千5百1円、繰延収益の合計は百61億4千6百1万5千54円で、負

債合計は2百69億8千8百12万1千6百97円でございます。資本の部では、資本金が14億4千4百51万5千百78円、剰余金が8億7千2百7万百96円で、負債資本の合計は2百93億4百70万7千71円となり、貸借は一致しております。

以上が令和4年度常総市下水道事業会計決算の概要でございます。

詳細につきましては、特別委員会においてご説明申し上げますので、ご審議賜りますようよろしくお願い申し上げます。